



■ 競技上の注意 ■

ワールドマスターズゲームズ2021関西 200日前イベント卓球大会(リハーサル大会) 審判長 滝 明子

2020年(令和2年)6月1日改定の日本卓球ルールを適用して実施します。

選手は、スポーツマンシップに則り、ルールを遵守し、立派なマナーのもとに正々堂々と競技を行ってください。

ラケット検査に関する注意点

- ラケットコントロール検査は、通常マッチ前に行われる。
- マッチ前検査にラケットを提出しなかった場合にはマッチ終了後に行われる。
- マッチ前のラケットコントロール検査に合格しなかったラケットは、そのマッチでは使用できない。別のラケットを使用しなければならない。使用したラケットはマッチ終了後に検査されることになる。もし、マッチ後の検査に合格しなかった場合、そのラケットを使用した競技者にペナルティが科せられる。
- 選手が希望すれば、試合開始前までにラケットの自主検査を受けることができる。

各種目とも1ゲーム11ポイント、5ゲームマッチで行う。

1. 卓球台・ボール・ラバー・ラケット・試合方法について

- ◎ 使用球は、全ての種目において、日本卓球株式会社製 プラ3 スタープレミアムを使用する。
- ◎ 卓球台はブルーまたはグリーンを使用する。
- ◎ ラバーは、JTTAまたはITTFが公認したことを示す公認ロゴつきでなければ使用できない。
- ◎ ラバーは、ラケット本体より大きかったり小さかったりしないこと。
- ◎ ラケットは、JTTAの刻印及び商標、または指定業者の略称とJTTAの連続刻印がなければならない。外国製ラケットを使用する場合は、あらかじめ試合開始60分前までに審判長の許可(「ラケット使用許可証を提出」)を受けてから使用すること。
- ◎ ゲーム中にラケットを破損した場合は、競技領域に持込んであったスペアラケット、またはプレー領域内で手渡された「別のラケット」に交換し、すぐにプレーを始めること。

2. サービスについて

- ◎ サービスを始める時は、フリーハンドの手のひらを開き、自由に転がるように、ボールをのせ、止まる。
- ◎ ボールに回転をかけることなく、ボールが手のひらから離れたあと16cm以上、ほぼ垂直に投げ上げ、落ちてくる途中で打たなければならない。
- ◎ サービス動作を始めてから打球するまでの間、ボールはプレーイングサーフェスよりも高い位置で、エンドラインより後ろになければならない。また、その間ボールを隠すことなく、レシーバーに見せるようにする。
- ◎ ボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーアームとフリーハンドをボールとネットの間の空間の外に出さなければならない。
- ◎ ボールを斜めに投げ上げることや、プレーイングサーフェスより低い位置から投げ上げるとフォルトとなります。

3. 競技用服装・ゼッケン等について

- ◎ 競技服装(シャツ、ショーツ、スカート)は、JTTAの公認マークが付いている物を着用すること。
- ◎ 同系色の服装による対戦を避けるため、**必ず色や柄の違う2種類以上のシャツを用意すること。**
- ◎ 対戦する競技者が、似かよった服装で、しかもお互いに服装を変えることに同意しない場合は、主審がくじ(拳)により決めます。
- ◎ 競技服装以外に、スパッツ、ヘアバンド、リストバンド、サポーター等を着用できるが、メーカーロゴの表示がある場合は、日本卓球協会公認用具指定業者のものであることを条件に、1箇所の表示のみ認められる。指定業者でない場合はロゴを隠せば使用できる。
- ◎ アンダーシャツの使用は許可されるが、競技服装から大きくはみ出さないこと。はみ出した場合、はみ出した部分にはメーカーの商標・ロゴが見えてはならない。
- ◎ **ゼッケンは氏名・所属入りのものを必ず使用すること。**

4. ラバーの接着行為について

- ◎ ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして、JTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
- ◎ 大会期間中は、特別に定められた「ラバー貼替所」で必ず行ってください。





5. タイムアウト・抗議・アドバイスについて

- ◎ タイムアウトの要求は、1マッチに1回、1分以内とし、その時は、選手は” T” を示してください。
(アドバイザーが出す場合はTカードを)主審にはっきりと見せてください。
タイムアウトの要求に関して、競技者とアドバイザーの意見が異なるときは、競技者の意見を優先される。
- ◎ **主審または、副審による事実の判定に対し、抗議することはできません。**
- ◎ ベンチには、試合前に届け出たアドバイザー1名のみが入れる。
- ◎ 試合前に届け出が無い場合は、アドバイザーに入れない。
- ◎ 団体戦において競技者はベンチにいることを認められた誰からもアドバイスを受けることができる。
個人戦において競技者又は組は、そのマッチ開始前に主審に登録された1人のアドバイザーからのみアドバイスを受けることができる。

6. バッドマナーについて

- ◎ 競技者またはアドバイザーは、相手競技者に対し不当な影響を与えたり、観客に不快感を与えたり、ゲームの評判を落とすようなクセや態度(大声で叫び、汚い言葉を使う、相手選手を威嚇する、故意にボールを蹴ったり、競技領域外に打って出す、卓球台やフェンスを乱暴に扱う等)、そして無断でのラケット交換、競技役員の指示を無視するなどを行った場合、バッドマナーとして判断され、相手へのポイント、退場、失格等のペナルティが課せられる。
- ◎ 「スロープレー」もバッドマナーと判断されます。ポイントが決定した後は、速やかに次のサービス体勢、あるいはレシーブ体勢をとり、みだりに時間を取るようなことなく、競技のスピードアップをはかること。
- ◎ 試合開始時刻に遅れたり、事情もなく相手選手を待たせたりすることもバッドマナーと判断されることがあります。
プログラムを確認し、試合開始予定時刻の少なくとも20分前には、選手集合場所に入ること。

7. 幕、旗の掲示について

- ◎ 横幕の標示は、スポンサーとして協賛するところ以外、宣伝を目的とした企業名を卓球部名以上に大きくしたものは認めません。
- ◎ 横幕の寸法は、タテ1m×ヨコ4mを最大とし、文字の高さ15cm以上25cm以内のクラブ名が入っているもの。
部旗は、タテ1.5m×ヨコ2m以内とし、シンボルマークを中央に入れ、タテかヨコ表示に卓球部名が入っているもの。
- ◎ 縦幕は原則として認めません。
- ◎ 横幕・応援幕・校旗・部旗は、前もって会場責任者の許可を得て、大会組織委員会が定める場所に掲示してください。
自チームの全選手の試合が終了した後、すみやかに撤去すること。

8. コロナ感染症対策について

- ◎ 試合を行う直前までマスクを着用する。
- ◎ 卓球台で手を拭かない。
- ◎ シューズの裏で手を拭かない。
- ◎ 握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
- ◎ 不要な声出しはしない。
- ◎ タオル・飲料は、自分専用として他の人と共有しない。

9. 一般注意事項

- ◎ 進行の都合で、予定コートや開始時刻を変更することがありますので、放送に注意して下さい。
(試合時刻より早い場合は、10分前より試合を行う。)
- ◎ アリーナ内での飲食は、禁止されています。但し、健康上の理由での水分補給は、フタ付きのボトルを認めます。
- ◎ アリーナ内でのぬれ雑巾の使用は、一切禁止します。
- ◎ 体育館内は、全面禁煙です。喫煙は、所定の場所をご利用下さい。持ち込んだゴミ類は、お持ち帰り下さい。
- ◎ 貴重品については、各人が管理して下さい。万一、置き引きなどの被害にあっても一切責任は負いません。
- ◎ 競技場内での携帯電話は、使用禁止です。
- ◎ カメラ、ビデオ撮影等は、受付にて「報道」と許可された者、主催者担当者以外は、フロア内での撮影は禁止です。
(自分の試合の撮影用として1台のみ許可します。)フラッシュを使用しての撮影は禁止します。
- ◎ 映像をSNS、ブログに掲載すること、映像を報道などに提供することはできません。
- ◎ 競技中に起こったケガ、事故につきましてはは急応処置を致しますが、一切の責任は負えません。準備運動をしてから試合にのぞんでください

以上

